

Tohoku Gakuin Alumni Association

LUX MUNDI

東北学院同窓会報 [ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.25 2022.11



通信

LIFE LIGHT LOVE 19万人が繋ぐ、TGコミュニケーション



東北学院大学

[大学院]

文学研究科(博士課程) / 英語英文学専攻・ヨーロッパ文化史専攻・アジア文化史専攻

経済学研究科(博士課程) / 経済学専攻

経営学研究科(修士課程) / 経営学専攻

法学研究科(博士課程) / 法律学専攻

工学研究科(博士課程) / 機械工学専攻・電気工学専攻・電子工学専攻・環境建設工学専攻

人間情報学研究科(博士課程) / 人間情報学専攻

[学部]

文学部 / 英文学科・総合人文学科・歴史学科・教育学科

経済学部 / 経済学科・共生社会経済学科

経営学部 / 経営学科

法学部 / 法律学科

工学部 / 機械知能工学科・電気電子工学科・環境建設工学科・情報基盤工学科

教養学部 / 人間科学科・言語文化学科・情報科学科・地域構想学科

土樋キャンパス

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号 TEL.022-264-6421 FAX.022-264-3030

多賀城キャンパス

〒985-8537 多賀城市中央一丁目13番1号 TEL.022-368-1116 FAX.022-368-7070

泉キャンパス

〒981-3193 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号 TEL.022-375-1121 FAX.022-375-4040

※2023年4月 五橋キャンパス開学(新学部・学科)

地域総合学部(地域コミュニティ学科、政策デザイン学科)、
情報学部(データサイエンス学科)、
人間科学部(心理行動科学科)、
国際学部(国際教養学科)

東北学院中学校・高等学校

[東北学院中学校]

特別選抜コース / 総合コース

[東北学院高等学校]

特別選抜コース / 特別進学コース / 総合進学コース / TGコース

〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1 TEL.022-786-1231 FAX.022-786-1460

東北学院榴ヶ岡高等学校

特別進学コース / TG選抜コース / 総合進学コース

〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目2番1号 TEL.022-372-6611 FAX.022-375-6966

東北学院幼稚園

〒985-0862 多賀城市高崎三丁目7番7号 TEL.022-368-8600 FAX.022-309-2655

01 学校法人 東北学院 概要

02 特集

丸善雄松堂株式会社
代表取締役社長 矢野 正也

株式会社ベガルタ仙台
代表取締役社長 佐々木 知廣

10 躍動する同窓生 ～世代を超えたTGの輪～

声楽家(ソプラノ) 鈴木 真衣

株式会社ウジエスパー
代表取締役社長 氏家 良典

14 懐かしい風 新しい出会い～同窓生のお店を訪ねて～

大堀相馬焼 陶吉郎窯
陶芸家 近藤 学

株式会社平孝酒造
代表取締役社長 平井 孝浩

18 代議員会報告 / 収支決算書

20 TGギャラリー

21 TGネットワーク

巻末 校友課より

LUX MUNDI

Tohoku Gakuin Alumni Association

東北学院同窓会報

[ルクス・ムンディ～世の光～]

Vol.25 2022.11

表題 ～Lux Mundi(世の光)～

「Lux Mundi(ルクス・ムンディ)」は、ラテン語で「世の光」を意味します。「世の光 わがほこり」と校歌にも出てきますので、東北学院で学んだ方々には馴染み深いものがあると思います。「ルクス・ムンディ(世の光)」は、いうまでもなく東北学院の真の創設者イエス・キリストのことです。そのキリストの光に導かれて、それぞれの人生を歩んでいただきたいとの願いが込められています。



多賀城キャンパス全景(1980年代)

表紙

東北学院大学 多賀城キャンパス

東北学院大学工学部は、1962(昭和37)年、多賀城市に設置されました。歴史と文化の薫りが感じられる都市に誕生したキャンパスには、最先端のテクノロジー設備が整備され、60年にわたって創造性あふれる研究活動を支えています。2023年度より、工学部の学生たちは、新キャンパス(五橋キャンパス)で学びます。



多賀城キャンパス2号館西側
同窓会設立90周年
1993年10月11日記念植樹 ハナミズキ



書店のイメージを超えて 多彩な事業を展開

「丸善」といえば、洋書や専門書を取り揃える書店をイメージするのではないだろうか。しかし、同社が創業当初から手がけてきた事業は、その範疇を遙かに超えている。代表取締役社長の矢野正也さんに、会社の成り立ちを伺った。

「丸善の創業は1869年、明治2年です。福沢諭吉の門下生であった早矢仕有的が、その後押しを受けて起業しました。貿易業を生業として誕生し、輸入を中心に洋書をはじめ、医薬品や医療機器、タイプライター、計算機、お酒といった、いわゆる舶来品といわれるものを手がけていました。万年筆やインキも輸入していたのですが、インキは値が張ることから、自前でつくってしまおうと、会社の裏手に工場を設けてオリジナルのインキも製造していたんです。原稿用紙や万年筆、インキなどを求めて作家さんたちが集まり、交流の場になっていた時期もあったようです」。

書籍を中心に海外の学術情報から知的空間の創造まで、西洋文化・学術を紹介することで、人がよりよく生きるための「知」を提供してきた丸善。その後、2010年の分社化に伴い、書店事業とそのほかの事業を分割、書店の店舗は丸善ジュンク堂書店が担うこととなる。2016年には丸善が雄松堂書店と合併し、社名が丸善雄松堂となった。現在は丸善CHホールディングスの傘下として、学術情報コンテンツ・サービスの開発(情報)、教育・研究機関や商業施設の空間づくり(空間)、図書館や教育施設の人材支援などの事業(活動)

を通して、社会に広がる多様なまなびの場を、あらゆる側面から支える事業を展開している。

「まなび」を求める人の 最良のパートナーとして

現在、丸善雄松堂は情報、空間、活動という強みを、「本のもつ力」をもって最大化することに注力している。

「人は生まれた瞬間から生涯をかけてあらゆることをまなび、その連続した知の積み重ねが、現在の豊かな暮らしや社会を築き、未来の礎となります。私たちはいつの時代も、常にまなびに寄り添って、それを求めるすべての人の最良のパートナーであり続けたいと考えています」と矢野さん。これまでは対象を大学のような高等教育機関を中心としてきたが、それと並行して、直接、人に貢献する事業を推進している。

「例えば行政と連携して、地域の未来を育てるような活動の拠点『知とまなびのコミュニティ』をまちの中につくり、未来のまなびをデザインしていく。これは地域創生にもつながることだと思っています。宮城県内では利府町の『リフノス』、今年の夏オープン予定の福井県敦賀市の『ちえなみき』がありますが、このような地域に根ざした取り組みを強化しています」。

「リフノス」は、本を通じた感動や発見を提供する図書館と、全世代がまなび合う場としての公民館、ハレの舞台を創出する文化会館からなる複合施設。「ちえなみき」は、地域の未来を担う次世代人材の育成に効く本が選書されて並び、ワークスペースやミーティングスペース、カフェ



2021年7月オープン。「リフノス」という施設名には、鳥の巣のように多くの人が集まり、育つ場所にするとの願いが込められている。

誰もが多様な「知」や「まなび」に アクセスし、ウェルビーイングを 追求できる環境を創造します

Interview with The President



丸善雄松堂株式会社
代表取締役社長

矢野 正也

(やの・まさや)

昭和62年文学部英文学科卒

岩手県盛岡市出身。1987年4月丸善(株)(現 丸善雄松堂(株))入社。2005年8月教育・学術事業本部E&L (Education & Learning) 開発部部長に就任。利用者視点に立った新しい学習環境デザインの事業を開発。2012年2月図書館アウトソーシング(現 アカデミック・プロセス・ソリューション) 事業部長、2018年4月常務執行役員を経て2019年4月より現職。



スペースが備えられ、どちらも新たなコミュニティ拠点として注目を集めている。近年、図書館はその意匠も含め、大きく変化している。地域や住民の課題解決に向けたサポートを行ったり、住民間のネットワーク構築に寄与する機能を有したりと、図書館に新たな展開が期待されるいま、同社の取り組みは、さまざまなニーズを取り込み、具現化するロールモデルとなっている。

自分で考え、挑戦したこと 得られた数々の気づき

矢野さんが、丸善に入社を決めたのは、どのような理由からだったのだろうか。

「当時は、実家が岩手県盛岡市にありましたの

基礎学力を補うために行われる教育)や、学生減少を見据えた修学意識の向上といったさまざまな課題。そして、それらに対応すべく、キャリアセンターを中心とした学生支援の動きが出ていたことである。そこで、E&L開発部総勢8名で、課題解決につながるメニューの作成に取りかかった。その中で最もヒットしたのが、ラーニング・コモンズである。

「これは主体的な学習を支援する場所で、図書館の中に置かれることが多いのですが、当時、国内には存在しておらず、私たちは北米まで調査に赴きました。帰国後、積極的にセミナーを開催し、ラーニング・コモンズを紹介すると、多くの大学が興味をもってくださいました。新規事業を立ち上げるまでは悪戦苦闘しましたが、自分たちの会社が何をやる会社で、どんな歴史をたどってきたのか。そのパーパス(企業としての存在意義)にフィットする事業こそが定着し、成長するのだということを実感した仕事でした。東北学院大学の図書館長をしていた佐藤義則先生も、早くから図書館評価をはじめ海外の動向について研究をされていました。母校の先生ですから、当然、お声がけもしやすかったですし、さまざまな情報を頂戴しました。大変感謝しています」。

多くの大学が有するラーニング・コモンズは、矢野さんが立ち上げたE&L開発部から全国へと広がっていった部分が多い。

「まなびのつながり」を 育むサービスの展開

幕末から明治にかけての混沌とした時代に、西洋と日本の知識・文化の架け橋として誕生した丸

で、盛岡に支店があり、加えて海外にも拠点がある企業という基準で、会社を探していたんです。そんな会社はなかなかないだろうと思っていたら、あったんですね。それが丸善でした。希望の企業に入社することができたわけですが、結果的に盛岡にも、大学時代を過ごした仙台にも戻ることはありませんでした」と苦笑する。

そんな矢野さんに、これまでのキャリアの中で印象に残っていることを伺ってみると、大きく3つの出来事を挙げた。一つ目は、常に相手が求めていることを考えるようになるきっかけをつくれたルート開発に携わったこと。二つ目が、文系出身でありながら、理系の知識が求められる電子計算機部門に異動になり、苦しんだ末にコンピュータへの苦手意識を克服したこと。この経験

善雄松堂。150年余りを経て、次なるステージでは、社会に広がる多様なまなびの場で活動する人と人とのつながりを育む事業を展開したいと矢野さんは話す。

「一番は人づくりです。社内はもちろんですが、僭越ながら、社外も含めて何らかの貢献ができないかを模索しています。ひと言でいえば、『まなびのつながり』を育むということです。学習環境の中で生まれる相互の『つながり』によって、まなびの内容や機会は多様化しますし、人々が個人あるいは社会のウェルビーイング(幸福であり、肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた状態)を追求できる土壌が育まれるのだと思います。ですから、私たちは教育・研究機関や、地域ごとのニーズに合わせて、企画・運営、コンテンツ、空間づくりを行い、誰もがさまざまな知やまなびに容易にアクセスでき、ウェルビーイングを追求できる環境を実現していきたいと考えています」と抱負を語る。

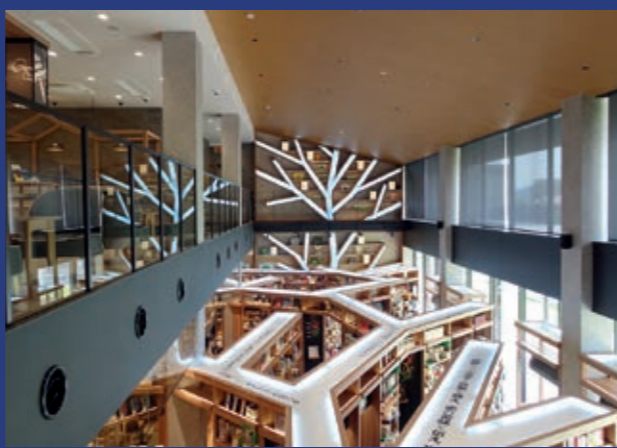
最後に、同窓生と東北学院生にメッセージをいただいた。

「いま、世の中は『答えのない時代』という枕詞をつけて語られることが多いですが、昔から答えなんかなかったのではないかと私は考えています。ですから自ら考え、自ら行動してほしいと伝えたいです。それから本も読んでください。そして、できれば購入は仙台アエルの1階にある丸善をお願いします(笑)。余談ではありますが、東北学院大生の皆さん、私たちと一緒に働きましょう」と、笑顔で話す矢野さん。多くの人が、東北学院生の特徴として挙げる親しみやすさ、大らかさあふれるメッセージをくださった。

を通して、あきらめずに続けることの大切さをまなんだこと。そして最後に話してくださいましたのが、E&L(Education & Learning)開発部の立ち上げに関する経験談だ。

「2005年当時、私たちは学術的なものや、研究者向けの事業を中心に展開していました。しかし、これからは教育や学習というフィールドに目を向け、利用者の視点に立ったサービスを提供することも必要ではないかという考えのもと、誕生したのがこの部署でした。名称も私が名づけたほど何も決まっていないうちで、最初に行ったのは大学が抱える課題のヒアリングです。100の大学法人を訪ねました」。

そこで浮き彫りになったのは、リメディアル教育(大学教育を受けるにあたって不足している



今年、9月1日にオープンした「ちえなみき」は、3万冊超の書棚空間と良質な情報や体験にふれる機会を提供する知育・啓発施設。公設書店という業態による新しい知の拠点の誕生に期待が高まる。





株式会社ベガルタ仙台
代表取締役社長

佐々木 知廣

(ささき・ともひろ)

昭和54年経済学部経済学科卒

宮城県大崎市出身。大学卒業後、郵政省入省。2007年10月
ゆうちょ銀行岩手地域センター所長に就任。同行本社郵便局担
当室長、監査企画部長などを歴任し、2020年3月退任。同年12
月株式会社ベガルタ仙台代表取締役社長に就任。ベガルタ仙台とのつ
ながりは長く、本業の傍ら1999年2月にベガルタ仙台・市民後
援会事務局長、翌年2月には理事長に就任している。

ピッチで生まれる「感動」を 一緒につくってください スタジアムでお待ちしています

Interview with The President



次世代に残したい そう思えるクラブに

日本初のプロサッカーリーグであるJリーグが発足したのは、1993年5月。その翌年の11月、「東北にプロサッカーチームを」と願う33万人の署名によって、ベガルタ仙台は誕生した。創立当初のブランメル仙台というチーム名を現在のベガルタ仙台に改称し、2部化されたJリーグのJ2リーグに参戦したのは1999年。仙台市をホームタウンとする「市民クラブ」は、地域のシンボルとしてふさわしいプロサッカーチームとして、豊かなスポーツ文化の振興や青少年の健全育成、地域の活性化に寄与することをミッションに活動を続けている。そんな地域に根ざしたチームのクラブビジョンは「STAND IN SENDAI」そして、その先へ。

「これには『次世代に残したいあなたの大切なものは何ですか』という問いかけに、『ベガルタ仙台』と答えていただけるクラブになろうという思いが込められています」と話すのは、2020年12月から社長を務める佐々木知廣さん。まず、社長に就任するまでの経緯を伺った。

「私自身は、ただのサポーターだったのです。ほかの方々と少し違っていたのは、365日、いつでもベガルタ仙台の活動を応援しようという思いでベガルタ仙台・市民後援会を立ち上げ、私はこの会のリーダー的役割を担っていた。その一点だけなんです」と佐々木さん。これまでクラブ存続の危機に遭遇することがあったが、その度に同会の結束力を高めながら、縁の下の力もちとして支えてきた。しかし、2020年夏に、クラブの経営は年度末の債務超過が確定的となり、加えてチームの成績不振、選手の不祥事といった課題が顕在化する。

クラブの建て直しのために、長年にわたり、すぐそばでクラブを見てきた佐々木さんに白羽の矢が立ち、推されて社長に就任した。その後、2022年4月から増資による債務超過の解消に着手、8月には増資を完了し、実質的に債務超過の解消を実現した。現在は昨年のJ1降格を受けて、J1復帰を目指し、総力を上げて強靱なクラブづくりに取り組んでいる。

改めて問い直した スタジアム観戦の意味

佐々木さんが社長に就任したとき、世の中はすでにコロナ禍にあり、観客動員がままならない状況が続いていた。

「コロナは、現在も収束の気配がありませんし、いつか一定の収束がみられたとしても、1試合平均15,000人のお客さまがスタジアムに入っていた、以前のような状態には戻れないのではないかと思っています。なぜなら、いまや在宅ワークやリモート会議などが当たり前のものとなり、私たちの行動は何の違和感もなく変わってしまいました。このことは、スタジアムに来てくださるお客さまにも当てはまるのではないのでしょうか。サッカーも、わざわざスタジアムに行かなくても、感染のリスクなども考えれば、テレビで観戦すればいいだろうと思うのは無理もないことだと思っております」と現状を分析する。だからこそ、スタジアムに足を運んでもらうための工夫が必要と、企画立案に注力し、一時は4割減となった観客数を着実に増やし、いまでは10,000人が集まる試合もある。そこには、まさにウイズコロナ時代に、熱い思いをもって意識改革を行った成果が表れていた。



©VEGALTA SENDAI



「スタジアムに来て観戦するというものをクラブとして再構築しました。お客さまは、プロのプレーを目の当たりにして、『感動した』とおっしゃいます。もちろん、それはそれで正しいのです。しかし、皆さんが受けた感動は、選手だけがつくり出しているものでも、選手だけが与えているものでもなく、スタジアムに集まったすべての人たちの思いや応援が集約されて、ひとつの大きな感動になっているのだと思うのです。ですから、応援してくださる皆さんには、感動を受け取るだけでなく、一緒に創ってほしいという呼びかけが、次のステージには必要なのだと思います」。

自分たちで考え、実践することで得たやりがい

みんなで感動を創り上げるとはいえ、それを声

高に伝えても、そう簡単にはスタジアムに足を運んでももらえないことも確かである。そこで、まず敷居を低くしようと、試合ごとに遊び心のあるテーマを決め、エンターテインメント性を高めた。

「例えば、レディースと称して、女性のお客さまに特に楽しんでもらえる内容にしたり、学生の皆さんを対象にした企画を用意したり、スタジアムに行きたくなくなるようなしつけをたくさん用意しました。おかげさまで、コロナ禍で落ち込んだ観客動員数が、1試合の目標である平均7,600人を大きく上回っています。攻めの姿勢で構築した試合運営が、お客さまの心に響いていることを実感し、それがスタッフのやりがいにもつながっています。私たち自身が変わっていないといけないと思っています」と、佐々木さん

人生の岐路を照らした学びと出会い

佐々木さんが社長という重責を引き受けた裏には、ある人物の存在があった。高校、大学の先輩であり、長年、ベガルタ仙台・市民後援会会長を務める歌手のさとう宗幸さんである。

「社長就任の打診があったとき、実は最初はお断りしたのです。しかし、これまで大切にしてきたクラブが苦境に立たされているのに、断ってしまつてよいものかという思いもありました。そこで、20代から懇意にしていたさとう宗幸さんに相談しました。止めてもらえらることを期待してご自宅に伺ったのですが、『お前が引き受けなかつたら、誰が引き受けるんだ』といわれてしまいました。さとうさんには、これまでも人生の分かれ道で相談し、的確なアドバイスをいただいていたので、また何か困ったことが起こつたら相談させていただくとう腹を括り、引き受けることにしたのです」。

こうして社長に就任した佐々木さんだが、大学時代は公認会計士を目指して勉強に勤しんだという。

「財務会計の故門脇立郎先生のゼミで、本当に一生懸命勉強していたのですが、途中で何を間違えたか、公務員試験に受かってしまいました。目先の利益に飛びついて郵政省に入りました。郵政民営化によって、退任時はゆうちよ銀行の銀行員になっていたのですから、人生はわからないものですね」と笑う。そんな佐々木さんの人生を支えたのが、東北学院大学で学んだことと、ベガルタ仙台・市民後援会の活動だった。

「ゆうちよ銀行に配属になったのも、こうして経営の立て直しに関わることになったのも、大学時代に学んだ財務の知識があったからこそと自負しています。そして、何よりも大きかったのは、落ち込むことがあっても、一緒になってベガルタ仙台を応援する仲間が存在に支えられたことです」と、これまでの道のりを振り返る。

最後に同窓生に向けてメッセージをいただいた。「人生100年時代には、自分の属するものが家庭と会社だけではなく、三つ目の居場所『サードプレイス』をもっている、それが次の仕事になったり、趣味になったりして、人生を豊かに過ごせるのではないのでしょうか。心が折れそうになることは、たくさんあります。そんなときでも、自分の居場所を複数もっていることで、支えられる幹が太くなります。できれば、サードプレイスをライフシフト(自分の価値観に従い、自分の判断で生き方を選び取ること)の選択肢にすることができれば、なおいいですね。まさに佐々木さんのサードプレイスは、いま第二の仕事場となった。

「チームをJ1に戻し、地域のシンボル、子どもたちの憧れの対象となるよう、J1上位で活躍できるチームづくりが必要だと思っています。そのためには、4年後までに経営規模35億円(2019年は約25億円規模)への成長を目指し、トップチームの選手を育成するためにアカデミー強化にも注力してまいります。同窓生、在学生、在校生の皆さん、ぜひスタジアムにお越しください。一緒に感動をつくりましょう」と佐々木さん。市民の声から生まれたクラブとして、親しみをもって受け入れられ、地元の誇りとなるチームづくりに余念がない。

は新たな決意を語る。

実際に、担当制でイベントを企画するスタッフたちは、最初は慣れない業務に苦戦したが、楽しんでもらいたい一心でプランを練り、それを形にできる人を探し、さらには、形にできる人を知っていそうな人を探すと、いう粘り強さでイベントを開催し、地道に観客動員数を伸ばしてきた。

「毎試合、アンケートを実施していますが、選手はもちろん、スタッフもがんばっていますねというコメントを頂戴するようになりました」と、うれしそうに話す佐々木さん。再来年には、コロナ前の14,000人から15,000人の観客数達成を目指す。そこにあるのは、コロナ以前のイメージではなく、「新たなステージにお客さまをお迎えする」という気概だ。



- ▲自治体や企業と連携し、SDGsの達成に取り組むベガルタ仙台。7月のファンフォーレ甲府戦では、スタジアムで自治体や企業、学校などのSDGsに関する成果などをPRする場を提供した。
- ◀宮城県七ヶ宿町と連携し、地域の活性化にも取り組んでいる。写真は今年1月に行われた雪像づくり体験&雪かき選手権イベントのひとコマ。



学びと出会いにあふれた

4年間は、私の人生の

宝物のような時間です。

PROGRESS

声楽家(ソプラノ)

鈴木 真衣

(すずき・まい)

平成21年教養学部言語文化学科卒



学ぶ意欲をかき立てた
大学の講義

「先生について声楽を本格的に習い始めたのは、大学に入ってからです。ヴィオラ・ダ・ガンバ(膝やふくらはぎで楽器を支え、弓で弾く擦弦楽器)という楽器も同時期に習い始めて、東京まで夜行バスで通っていました。それが苦もなくできたのですから、体力がありましたね」と笑顔で話すのは、声楽家の鈴木真衣さん。朗らかなお人柄が、表情や声の抑揚から伝わってくる。現在、プロのソプラノ歌手として活躍している。

口の音楽家にお会いする機会がありました。その中でプロの世界は厳しいと感じていたので、目指そうとは思っていません。大学時代は公務員志望だったんですよ」と鈴木さん。大学では興味のある科目を選択できる点が学ぶ意欲をかき立て、たくさんさんの講義を履修。特に文化人類学の津上誠先生の講義がおもしろく、鈴木さんは津上ゼミのゼミ生でもあった。

「遠回り」で得た
たくさんしたこと

大学を卒業後、フランスでの音楽留学を果たした鈴木さん。プロ志向のないところから、どのような気持ちの変化があったのだろうか。

「大学3年のころから、このまま公務員になったら後悔するのではないかと思うようになりました。挑戦するならいまだと意を決し、大学を卒業した年にフランスへ行きました。先生と学校を探すためです」。

渡仏後、程なくしてオーベルヴィリエ・ラ・クルヌーヴ地方立音楽院(CRR93)を受験できることになったが、問題が発生。異国での生活によるストレスからか、いつもの歌い方が全くなくなってしまふ。それを助けたのがヴィオラ・ダ・ガンバだった。声楽ではなく、ガンバでの受験が許され、無事に合格を果たす。

「学校は1課程から3課程まであるシステムで、私は2課程目に入學し、さらに3課程の途中で同じ学校の声楽科に入り直したんです。声楽でディプロム(フランスの教育省が認定する試験で合格点に達して初めて取得できる資格)を取得し、卒業しました。その後帰国し、現在に至ります」。

「フランスではモーツァルトの『レクイエム』、プーランクの『グロリア』などのソプラノソロを務め、2012年にはエピソード・アーティストコンクールの声楽部門で1位、同年クレドールコンクールで2位を獲得するなど、自身の力を大いに磨いた」。

帰国後も自らコンサートを主催したり、子どもたちを対象にした音楽ワークショップや、在仙合唱団のボイスリーダーとしても活躍している。

「高校卒業後に音楽大学に進学しなかったことに対して、遠回りしたかなと思うときもありました。でも、親身にサポートしてくださった大学の先生方や、いまもコンサートに駆けつけてくれる友人は、私の宝物です。この心豊かに過ごした4年間で育んだものを大切にして、自分の音楽を発信し、またコンサートなどに行く機会が少ない地域の子どもたちに、音楽の楽しさを味わってもらおうワークショップなども続けていきたいと思っています。仙台を活動の中心にしつつも、地域を限定せず、演奏の機会が得られるよう積極的に動いていくのがこれからの目標です」と鈴木さん。これからの人とのつながりを大切に、一人ひとりの心に音を染しむことで生まれる光を灯し続ける。



profile

仙台市出身。大学卒業後、フランスのオーベルヴィリエ・ラ・クルヌーヴ地方立音楽院(CRR93)にて音楽研究資格(DEM)を取得し卒業。帰国後も音楽を通じたさまざまな活動を行い、2020年4月からはオンラインレッスンを開講。2021年第7回下田国際音楽コンクールにて第1位の大賞ならびにペリー賞を受賞している。フランス歌曲、バロック音楽、現代作品、オペラなど幅広いジャンルで精力的に活動。尚絅音楽教室少年少女合唱団アシスタント兼ボイストレーナー。合唱団Palinkaボイストレーナー。



世代を超えたTGの輪

躍動する同窓生

PROGRESS

お客さまに
喜んでいただける
アイデアを
形にしていります



株式会社ウジエスーパー
代表取締役社長

氏家 良典

(うじいえ・よしのり)

昭和47年経済学部商学科卒

宮城県登米市出身。大学卒業後、(株)東北フードサービスを経て、(株)ウジエスーパーに入社。1998年代表取締役社長に就任。現在に至る。東北学院同窓会副会長、同会登米支部の支部長を務める。

命を守ることが出来る仕事

宮城県内に32店舗を展開し、多くの宮城県民に親しまれる食品スーパーマーケット「ウジエスーパー」。その社章には、赤いりんごがデザインされている。これは、ウジエスーパーの前身である氏家商店が、米を岩手や青森にもっていき、りんごこと交換しながら商売の基礎を築いたことに由来する。「その初心を忘れないようにとの思いを込めた」と話すのは、代表取締役社長の氏家良典さん。

「スーパーマーケットとしての創業は昭和42年、昭和57年に(株)ウジエスーパーを設立し、生鮮食品から加工食品、日用雑貨を提供してまいりました。一貫して大切にしてきたのは、『食を通して社会貢献することです。平穏な日常の中では、特別なこととは思っていませんでしたが、東日本大震災が発生した際には、私たちの仕事は人の命を守ることができる。社会インフラなんだと実感しました。」

地震直後、スーパーやコンビニに人が押し寄せて商品が消え去り、手に入れられなかった人たちは途方にくれた。そのとき、物流業務を自社で行っていた同社は、その機能をフルに生かして商品を確保し、ウジエスーパーの各店頭にいち早く、豊富に並べることができた。「ウジエスーパーがあつて良かった」、「助かった」と感謝の声が多く寄せられたという。東日本大震災を経験したことで、大いなる気づきを得たと、氏家さんは当時を振り返る。

そんなウジエスーパーの魅力に、「良いアイデアをすぐに形にする行動力」がある。つい先日、その好例が、県民の秘密を掘り起こす人気のテレビ番組で取り上げられた。紹介されたのは、同社の従業員が考案した斬新なおにぎりやスムージー。大きな反響を呼んだ。

「お惣菜だけでなく、店づくりに至るまで、従業員のアイデアを生かす仕組みが弊社にはあると自負しています。私は毎月、従業員から寄せられる300通ほどのアンケートに目を通していき、やるべきことはすぐに実行してもらっています。お客さまの一番近くでニーズをキャッチしているのは従業員ですから、どのように形にするかは、担当する部署の人たちを信じて任せているんです」と氏家さん。お客さまに喜んでもらうだけでなく、従業員が働きがいをもって仕事に取り組める環境づくりにも余念がない。

一生の友人と出会ってほしい

中学校から剣道で心身を鍛えていた氏家さんは、東北学院大学でも剣道部に入部。副主将を務めながら、東北大会での優勝も経験した。

「大学生活は楽しかったですよ。剣道をしにキャンプスに行っていたようなもので、勉強したことはあまり覚えていません(笑)。剣道部の仲間とは、いまでも交流があります。コロナのために最近では会えませんが、それまでは毎年1回は集まって、旅行に行ったり、飲みに行ったりしていました。会えばすぐに当時の雰囲気に戻って、お互いの名前を呼び捨てにして語り合えるのもうれしいものです。ですから、いま学生の皆さんに私が願うのは、長くつき合っていくことができる、一生の友だちをつくってほしいということです」と、メッセージを送ってください。

今後の目標は、お客さまの一步先をいくサービスを提供する姿勢と、みんなでよりよい店舗をつくり上げようと協力する社風を次の経営者に手渡すこと。「いまならバトンタッチしてもいいところまで伴走します」と話す氏家さん。その表情に、厳しさと優しさ、温かさがにじんでいた。

伝統工芸の継承のために できることを考え、行動したい



取材MEMO
冬の夜明けに
アシ原で
スズメが佇む
情景を表現。



美術の全国公募展「改組新第7回日本美術展覧会」(日展)の工芸美術で特選を受賞した近藤さんの作品「象嵌彩暁の景」。象嵌とは文様を線彫りや地彫りをして、その部分に素地色とは異なる種々の陶土を埋めて表現する技法。これからも近藤さんは、大堀相馬焼の特徴であるご神馬の絵と青ひび、二重構造という技術に、象嵌の技法を組み合わせ、新しい作品を生み出すことを目標にしています。



懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 24



大堀相馬焼 陶吉郎窯
〒979-0204
福島県いわき市四倉町細谷字水俣75-17
TEL.0246(38)7855
【営業時間】AM10:00~PM6:00
【休業日】毎週火曜
【ホームページ】<https://www.toukichirougama.com>



大堀相馬焼 陶吉郎窯
陶芸家
近藤 学 (こんどう・まなぶ)
昭和52年経済学部経済学科卒

海沿いの工房で再出発

海のほど近くに広がる田園風景、その中に陶芸家近藤学さんの工房や登り窯、作品を展示販売する店舗などがある。白壁に黒の屋根が映える洋風の館で、2018年春にオープンした。近藤さんは300有余年の歴史ある伝統工芸大堀相馬焼(1978年伝統的工芸品に指定)の一つ、陶吉郎窯を継承する9代窯元。独自の作風を追求する長男の賢さんとともに、多くのお客さまのニーズに応える作品を制作している。

大堀相馬焼はその名の通り、福島県浪江町大堀で受け継がれてきた伝統工芸だが、2011年に発生した福島原発事故により、震災前に自宅兼工房を構えていた浪江町大堀が避難指示区域となり、避難を余儀なくされた。

「震災後、お得意さまのご厚意で、いわき市内に仕事場を得て、6月には陶作を再開できました。今日まで続けてこられたのも多くの友人、知人のおかげです。人とのつながりで生かされていることを改めて感じています」と近藤さんはこれまでの道程を振り返る。

本来の土地でつくりたい

「実は大学卒業まで、陶芸家になろうとは思っていませんでした。大学では硬式野球部に所属し、野球一筋にがんばっていました。いまでも当時のメンバーたちとは、お互いによりき理解者としてつきあいが続いています」。

近藤さんは、大学卒業後に伝統工芸の継承を決意し、ゼロから技をマスターした。父親に教えを請う傍ら、さまざまな展覧会に出向き、たくさんの方の陶芸作品を鑑賞。刺激を受け、高みを目指すようになったという。そのころから展覧会への出品を続け、多くの賞を受賞。2020年には日展で「特選」を受賞した。現在は現代工芸美術家協会理事、同協会東北会長として、毎年、東北現代工芸美術展の開催にも尽力している。

「いつになるかわかりませんが、大堀に戻って、本来の土地で伝統継承の土台づくりをしたいと思うようになりました。伝統の地を離れて、果たして伝統工芸といえるだろうかと考えると、やはり元々の産地でつくることに価値があると思うのです。さらに産地で後継者を育てて、その人たちが土地に根を下ろし、名実ともに大堀相馬焼を継承してくれる。そこまで見届けられたらうれしいですね」。課題は山積しているが、自分がやらなければ誰がやるのだという使命感と気概を原動力に、元々の産地での大堀相馬焼の再開に向けて、近藤さんは前進し続ける。

好漁場である石巻で、
魚に合う酒を追求します

懐かしい風 新しい出会い

同窓生のお店を訪ねて 24



取材MEMO

太陽の恵みを受けるように 丁寧に醸される「日高見」



平孝酒造の代表銘柄「日高見」は、「魚でやるなら日高見だっちゃ!」をテーマに、魚介類と相性の良い味わいに仕上げられているのが特徴です。「日高見」の名称は、『日本書紀』に記された太陽の恵みを受ける「日高見国」に由来しています。また北上川の古称が「ひたかみがわ」だったことも、平井さんが惹かれた理由。地元の蔵人たちが愛情を込めて醸す、風土性豊かな地酒です。



株式会社平孝酒造
〒986-0871
宮城県石巻市清水町1-5-3
TEL.0225(22)0161



株式会社平孝酒造 代表取締役社長

平井 孝浩

(ひらいいたかひろ)

昭和60年経済学部経済学科卒

社員で造る唯一無二の酒

世界三大漁場の一つに数えられる、好漁場を有する石巻。平孝酒造は、この地の利と相性の良い酒造りに勤しみ、主要銘柄である日高見は全国に多くのファンをもつ。創業は1861(文久元)年。平井さんが5代目の蔵元として家業を継承したのは昭和62年で、その直前まで、大手卸問屋に勤務し、東京で働いていた。物心ついたころから、父親に「蔵を継げ」といわれ続けた反動で、絶対に継がないと思っていたそう。しかし、家業の経営が難しくなっていたことを知り、自分にしかできない酒を造ろうと一念発起、石巻に戻った。

「東京で食事をして、メニューの宮城県酒の欄に、うちのお酒が載っていないかったです。現実を知ったと同時に、家業が気になり始めました」と平井さん。しかし、蔵に入ってから、知名度の高い日本酒人気に押されて地酒は苦戦。さらに物流網の整備が進み、市場にはビールやワインなど、多種多様の酒があふれ、競合は増えるばかり。その中でも大きな課題は、南部杜氏の減少だった。

「酒造りは、古くから岩手県の南部杜氏に支えられていますが、高齢化が進み、各蔵に来ることができなくなって

いました。そこで、私たちは社員で酒を造る蔵になる道を選びました」。平井さんは、夏以外の三季を通じて醸造ができる設備環境を整え、現在は社員で酒造りのスキル向上に力を入れている。日高見のブランド化の感想を尋ねると、意外な答えが返ってきた。「宮城県のお土産として、国内外の方々に喜んでいただけるような、唯一無二の銘柄にしていきたいと思っています。まだまだです」と語る平井さんの志は高い。

宮城の酒をおともに

大学時代はどんな学生だったのか。

「絵に描いたような『不経済学科』の学生です(笑)。友人たちと麻雀をしたり、遊んだり。大反省しています。ですから、在学生の皆さんには、常に卒業後のイメージを描きながら、時間のあるいまこそスキルを磨いてほしいと思います。また、私の同級生は還暦を迎える年齢ですから、第二の人生を楽しんでほしいですね。その傍らにはぜひ、日高見はもちろん、宮城の酒をおともに置いてください。宮城の蔵元は、良いお酒造りをするために「生懸命な人たちがばかりです。ぜひ味わってください」。平井さんも今年、還暦を迎え、心意気も新たに日高見を磨き上げる。

2022(令和4)年度東北学院同窓会代議員会議案

日時：2022(令和4)年5月10日(火)13:30～ 場所：ホテルメトロポリタン仙台4階「千代」

議事については以下の通り

議 事

- (1) 東北学院評議員の推挙(了承)
- (2) 東北学院同窓会支部・TG会の設立・解散・名称変更(了承)
- (3) 2021(令和3)年度東北学院同窓会庶務報告(了承)
- (4) 東北学院同窓会支部・TG会開催報告(了承)
- (5) 支部活動費補助利用状況報告(了承)

- (6) 2021(令和3)年度東北学院同窓会決算報告(承認)
- (7) 2021(令和3)年度東北学院同窓会財産目録(承認)
- (8) 2021(令和3)年度東北学院同窓会監査報告書(承認)
- (9) 2022(令和4)年度東北学院同窓会事業計画(案)(承認)
- (10) 2022(令和4)年度東北学院同窓会予算(案)(承認)
- (11) 東北学院同窓会副会長・常任委員・代議員の選任について(承認)(了承)

2022(令和4)年度 東北学院同窓会収支予算書

自 2022(令和4)年4月1日
至 2023(令和5)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	2022年度予算額	2021年度予算額	増減(22年度-21年度)	科 目	2022年度予算額	2021年度予算額	増減(22年度-21年度)
前年度繰越金	27,491,459	28,555,483	△ 1,064,024	集 会 費	4,000,000	3,300,000	700,000
入 会 金	10,284,000	9,015,000	1,269,000	事 業 費	2,500,000	1,500,000	1,000,000
大 学 院	30,000	30,000	0	活動補助費	4,000,000	4,300,000	△ 300,000
文 学 部	1,272,000	1,323,000	△ 51,000	オリジナル品制作費	2,500,000	2,000,000	500,000
経 済 学 部	1,812,000	1,740,000	72,000	TG十五日会費	4,250,000	2,400,000	1,850,000
経 営 学 部	945,000	894,000	51,000	クリスマス費	300,000	300,000	0
法 学 部	978,000	954,000	24,000	旅費交通費	6,000,000	3,700,000	2,300,000
教 養 学 部	1,185,000	1,206,000	△ 21,000	広 報 費	4,300,000	3,200,000	1,100,000
工 学 部	1,167,000	1,197,000	△ 30,000	TG会館建設資金並びに運営資金	0	8,000,000	△ 8,000,000
高 校	1,452,000	465,000	987,000	同窓会奨学事業費	5,000,000	4,700,000	300,000
榴ヶ岡高校	870,000	810,000	60,000	学生緊急支援費	0	10,000,000	△ 10,000,000
中 学 校	573,000	396,000	177,000	同窓会学生支援費	0	0	0
会 費	45,549,800	43,072,200	2,477,600	総 会 費	700,000	170,000	530,000
大 学 院	267,000	279,000	△ 12,000	印 刷 費	800,000	500,000	300,000
文 学 部	5,583,000	5,577,000	6,000	雑 費	1,000,000	1,000,000	0
経 済 学 部	7,713,000	7,803,000	△ 90,000	福 利 厚 生 費	1,200,000	1,200,000	0
経 営 学 部	4,203,000	4,212,000	△ 9,000	人 件 費	5,500,000	6,500,000	△ 1,000,000
法 学 部	4,347,000	4,371,000	△ 24,000	業 務 委 託 費	11,500,000	11,500,000	0
教 養 学 部	5,397,000	5,397,000	0	備 品 費	500,000	200,000	300,000
工 学 部	5,448,000	5,412,000	36,000	事 務 費	250,000	200,000	50,000
高 校	2,277,000	1,749,600	527,400	通 信 費	1,500,000	1,500,000	0
榴ヶ岡高校	1,494,000	1,512,000	△ 18,000	サテライトステーション	100,000	100,000	0
中 学 校	820,800	759,600	61,200	光 熱 費	1,000,000	900,000	100,000
会 員 会 費	8,000,000	6,000,000	2,000,000	五橋キャンパス開学助成費	10,000,000	0	10,000,000
業務受託収入	2,400,000	2,400,000	0	予 備 費	13,085,259	11,042,683	2,042,576
TG十五日会	1,500,000	1,050,000	450,000	次年度繰越金	0	0	0
寄 付 金	200,000	50,000	150,000	合 計	87,485,259	84,212,683	3,272,576
TG会館建設資金並びに運営資金取崩し収入	0	0	0				
雑 収 入	60,000	70,000	△ 10,000				
合 計	87,485,259	84,212,683	3,272,576				

※TGSS:東北学院サテライトステーション

科目間及び予備費の流用については、三役会議の了承を得て執行いたします。	前期末残高	当期繰入金額	当期末残高	備 考
TG会館建設資金並びに運営資金	200,000,000	0	200,000,000	十七銀行、仙台銀行

2021(令和3)年度 東北学院同窓会収支決算書

自 2021(令和3)年4月1日
至 2022(令和4)年3月31日

収入の部				支出の部			
科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)	科 目	予 算 額	決 算 額	増減(予算額-決算額)
前年度繰越金	28,555,483	28,555,483	0	総 会 費	170,000	0	170,000
入 会 金	9,015,000	9,222,000	△ 207,000	集 会 費	3,300,000	30,000	3,270,000
大 学 院	30,000	21,000	9,000	旅費交通費	3,700,000	542,210	3,157,790
文 学 部	1,323,000	1,350,000	△ 27,000	活動補助費	4,300,000	609,068	3,690,932
経 済 学 部	1,740,000	1,806,000	△ 66,000	印 刷 費	6,000,000	5,550,556	449,444
経 営 学 部	894,000	945,000	△ 51,000	通 信 費	1,500,000	1,188,634	311,366
法 学 部	954,000	978,000	△ 24,000	広 報 費	3,200,000	748,000	2,452,000
教 養 学 部	1,206,000	1,260,000	△ 54,000	クリスマス費	300,000	132,765	167,235
工 学 部	1,197,000	1,236,000	△ 39,000	TG十五日会費	2,400,000	1,338,509	1,061,491
高 校	465,000	423,000	42,000	講 師 謝 礼、会 場 費、看 板 維 持 費 等			
榴ヶ岡高校	810,000	807,000	3,000	人 件 費	6,500,000	4,090,806	2,409,194
中 学 校	396,000	396,000	0	業 務 委 託 費	11,500,000	10,198,650	1,301,350
会 費	43,072,200	41,750,000	1,322,200	福 利 厚 生 費	1,200,000	576,776	623,224
大 学 院	279,000	333,000	△ 54,000	会 議 費	500,000	247,280	252,720
文 学 部	5,577,000	5,610,000	△ 33,000	備 品 費	200,000	0	200,000
経 済 学 部	7,803,000	7,869,000	△ 66,000	事 務 費	200,000	210,951	△ 10,951
経 営 学 部	4,212,000	4,236,000	△ 24,000	雑 費	1,000,000	610,690	389,310
法 学 部	4,371,000	4,395,000	△ 24,000	福 利 厚 生 費	10,000,000	9,624,295	375,705
教 養 学 部	5,397,000	5,445,000	△ 48,000	学 生 緊 急 支 援 費			
工 学 部	5,412,000	5,343,000	69,000	オリジナル品制作費	2,000,000	738,500	1,261,500
高 校	1,749,600	1,696,500	53,100	TG会館建設資金並びに運営資金	8,000,000	8,000,000	0
榴ヶ岡高校	1,512,000	1,469,400	42,600	事 業 費	1,500,000	286,280	1,213,720
中 学 校	759,600	761,100	△ 1,500	サテライトステーション	100,000	17,140	82,860
会 員 会 費	6,000,000	4,592,000	1,408,000	光 熱 費	900,000	685,660	214,340
業務受託収入	2,400,000	2,400,000	0	同窓会奨学事業費	4,700,000	4,649,000	51,000
TG十五日会	1,050,000	363,000	687,000	同窓会学生支援費	0	5,000,000	△ 5,000,000
寄 付 金	50,000	207,000	△ 157,000	予 備 費	11,042,683	0	11,042,683
TG会館建設資金並びに運営資金取崩し収入	0	0	0	小 計	84,212,683	55,075,770	29,136,913
雑 収 入	70,000	69,746	254	次年度繰越金		27,491,459	
合 計	84,212,683	82,567,229	1,645,454	合 計	84,212,683	82,567,229	1,645,454

※TGSS:東北学院サテライトステーション

全国に活動の場を広げる

全国の支部・TG会の活動報告 北から南から

全国 86支部 124 TG会
同窓生総数 197,105人

TGネットワーク

Around Japan

同窓会支部一覧 86 支部 2022(令和4)年5月1日現在

宮城県	北海道	岩手県	山形県	関東	東海・近畿
仙台同窓会	札幌支部	盛岡支部	山形支部	東京支部	東海支部
青葉支部	旭川支部	一関支部	上山支部	神奈川支部	静岡支部
泉支部	岩見沢支部	奥州支部	寒河江支部	栃木県支部	近畿支部
太白支部	帯広・十勝支部	釜石支部	酒田支部	群馬支部	
宮城野支部	釧路支部	北上・和賀支部	新庄支部	武蔵野支部	
若林支部	川崎支部	気仙支部	天童支部	水戸支部	
太白支部秋保地区 TG 会	宮城蔵王支部	宮古支部	米沢支部		
宮城野支部岩切 TG 会	巨理支部				
宮城野支部高砂 TG 会	角田・丸森支部				
利府支部	白石支部	青森県	秋田県	福島県	信越・北陸
塩釜支部	黒川支部	青森支部	秋田県中央支部	福島県北支部	新潟支部
多賀城支部	大崎支部	八戸支部	秋田県大館支部	会津支部	信州支部
松島支部	登米支部	弘前支部	秋田県南支部	いわき支部	北陸支部
鳴瀬支部	美里支部	上十三支部		郡山支部	
石巻支部	涌谷支部			相馬支部	
女川支部	栗原支部			南相馬支部	
志津川支部	鳴子支部			双葉支部	
気仙沼支部					中国・四国・九州
					広島支部
					四国支部
					九州支部
					北米
					北米支部

TG会一覧 124 TG会 2022(令和4)年5月1日現在

アーサナス同窓会	コセキTG会	TG地理学同窓会	ぴっと62TG会
アイリスグループTG会	裁判所TG会	TG鍼灸接骨師会	藤崎TG会
秋田市役所TG青葉会	佐藤製線グループTG会	TGパシコグループ会	富士フィルムビジネスイノベーション/宮城支社TG会
ALSOK宮城TG会	三機工業グループTG会	TG薬剤師会	復建TG会
石巻市役所TG会	職業会計人TG会	TG地塩会	古川工業高等学校TG会
石巻信用金庫TG会	七十七銀行TG会	電気工学TG会(コスモス会)	古川電気工業TG会
泉女子寄宿舎同窓会	清水建設TG会	デンタルTG会	弁護士TG会
岩手医大TG会	シロキヤ・オフィスベンダーTG会	凸版印刷TG会	法学部同窓会
岩手県教職員TG会	書道人TG会	東邦銀行TG会	舗装TG会
岩手県庁TG会	神学TG会	東北運輸局TG会	北海道教職員TG会
エイエイピーTG会	JR東日本TG会	東北学院高等学校二部TG会	マンパワーグループTG会
NTTグループTG会	仙台銀行TG会	東北学院3L会	みちのく銀行TG会
遠藤商事TG会	仙台国際ホテルTG会	東北学院大学オリエンテーション・リーダーTG会	水戸屋TG会
大木建設TG会	仙台市議会議員TG会	東北学院中学校・高等学校同窓会	宮城県議会議員TG会
大崎市役所TG会	仙台市役所TG会	東北学院中学高等学校寄宿舎同窓会	宮城県警TG会
OKIテクノワーステムズTG会	仙台青年会議所中高TG会	東北学院榴ヶ岡高等学校同窓会	宮城県宅地建物取引業協会TG会(宮宅建TG会)
角田市役所TG会	セントTG会	東北厚生局TG会	宮城県庁TG会
鹿島TG会	銭高組TG会	東北高等学校TG会	宮城第一信用金庫TG会
兜町TG会	総合警備保障TG会	東北ゴムTG会	宮城ダイハツTG会
釜石市役所TG会	大成建設グループTG会	東北放送TG会	宮城トヨタグループTG会
川口印刷工業TG会	太平エンジニアリングTG会	東北マツダTG会	宮古市役所TG会
教養学部TG会	高砂熱学工業TG会	東洋熱工業(株)東北支店TG会	明治安田生命TG会
北日本銀行TG会	多賀城寄宿舎同窓会	戸田建設TG会	メットライフ生命TG会
基督教学科TG会	多賀城市役所TG会	ドクターTG会	盛岡市役所TG会
キリスト者TG会	竹中TG会	土木教員宮城TG会	杜の都信用金庫TG会
行政書士TG会	田崎真珠TG会	日専連TG会	守屋グループTG会
建設TG会	鉄鋼TG会	西原グループTG会	ユアテックTG会
工学部機械TG会	帝国アーバンクTG会	能美防災TG会	リコージャパン宮城支社TG会
弘進コムTG会	TG史学同窓会	バイタルネットTG会	
コカ・コーラボトラーズジャパンTG会	TGしびる会	東九番丁寄宿舎(北黎寮)TG会	
古久根建設TG会	TGしびる技術士会	日立キャピタルTG会	
コクヨグループTG会	TGスポーツOB連合会	日比谷総合設備グループTG会	

【情報をお寄せください】全国で幅広い活動を行う支部、TG会の活動報告の場です。皆様の情報をお待ちしております。(情報は校友課まで)



TG Gallery
 泉キャンパス1号館西側 樹齢80年のシナノキ
 同窓会設立90周年 1993年10月11日記念植樹
 Taka Furuyama

古山 拓。昭和61年 文学部史学科卒。昭和37年岩手県に生まれる。アニメーター、印刷会社、デザインプロダクション勤務を経て、平成6年、フリーイラストレーターとして独立。東北、東京等各地で風景水彩画の個展を開催。個展発表と広告美術の二本の柱で活動中。日仏現代美術博「ARTEC 造形美術賞」受賞。パリで開催された国交省イベント「ようこそ東北へ」では、東北風土紹介作家としてメイン展示。アトリエ名/ランズエンド。洋画家 故・杉浦朝雄氏に師事。●東北イラストレーターズクラブ会員 ●(社)宮城県芸術協会会員

東北学院校歌

E.H.ゾーゲ 作詞・作曲
青木義夫 訳詞

一、 若人われらの理想の国は
青葉の都よ

ああ東北学院
(おりかえし)

世の光 わがほこり
いざほめよや 友よ
もろごえあわせて

われらの学院

二、 大路ひとすじにたどり行けば
ちえの泉わく

ああ東北学院

三、 いくよ培いし大和心
神の愛に咲く

ああ東北学院

四、 命をささげし真の人
うたわるるいずこ

ああ東北学院

五、 教えのみ母よ汝がこころは
地のきわみまでも

ああ東北学院

校友課より

「個人情報保護法」への取り組みについて

平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院では園児・生徒・学生をはじめ卒業生等の個人情報の取り扱いについて「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定め、個人情報の適正な管理と保護に務めています。

校友課では、東北学院同窓会の運営に必要な皆様の個人情報をお預かりしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱って参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。詳細については、東北学院ホームページに掲載していますのでご覧ください。

なお、東北学院同窓会で使用する個人情報の利用目的は、次の通りです。

- ◇「東北学院時報」並びに「3L通信—Lux Mundi」の送付
- ◇「東北学院時報」購読料並びに同窓会費の徴収に関する事務
- ◇各支部・TG会などが主催する総会及び行事の案内
- ◇その他、上記に関連する業務

住所等変更届のお願い

同窓生の皆様には、お名前・ご住所・電話番号に変更が生じましたら、お手数でも校友課までご連絡くださいますようお願いいたします。お預かりする皆様方の個人情報は慎重に取り扱い、同窓会に関する利用目的以外には使用いたしません。特に「東北学院時報」と「3L通信—Lux Mundi」は、皆様と母校を結び通信手段として欠かせないものですので、ぜひご協力をお願いいたします。なお、住所変更届は東北学院同窓会ホームページからも行うことができます。



同窓会費(時報購読料を含む3,000円) 納入のお願い

多くの同窓生の皆様のご協力をお願いいたします。
同姓同名の同窓生がいます。納入する際、東北学院時報の宛先
帯封の9桁番号も必ずお知らせ下さい。

<以下①②③のどの方法でも納入できます>

①ゆうちょ銀行で、同窓会送金専用の払込取扱票で送金。

②ゆうちょ銀行以外の金融機関の窓口・ATMで送金。

氏名の後に、帯封の9桁番号を必ずご記入(入力)ください。
振込み先口座は以下の通り。

【銀行名】ゆうちょ銀行 (金融機関コード:9900)

【支店名】二二九店(ニニキユウ店) (店番:229)

【預金種目】当座

【口座番号】0000883

③ネットバンキングで送金。振込み先口座は②と同様。

帯封の9桁番号を必ずご入力ください。入力できない時は、
dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(同窓会事務局)にご連絡ください。

発行日/2022(令和4)年11月1日

発行所/東北学院同窓会(事務局:庶務部校友課)

発行人/森山 博(東北学院同窓会長)

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

TEL.022-264-6468 FAX.022-214-0404

URL : <https://www.tg-alumni.jp>

E-mail : dousou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

印刷/株式会社ユーメディア



学校法人 東北学院

同窓会報

3L通信

LUX MUNDI

ルクス・ムンディ

VOL.25
2022 11月号